



# 1 Dive 1 Cleanup プロジェクト

2020年（4月1日～12月31日）レポート

主催：株式会社 水中造形センター

企画・運営：1 Dive 1 Cleanup プロジェクト実行委員会

*Marine*  
**Diving** *Marine*  
**Diving web**

# はじめに

世界的に問題となっている海洋プラスチックごみに対して、ダイバーだからこそできることをやろうと立ち上げた本プロジェクト。本来であれば、2020年4月の「マリンダイビングフェア」で大々的にスタートし、各地で積極的に活動していく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、クリーンアップイベントの開催も難しくなるなど、思うように活動できないこともありました。

そんな中で、多くの皆さんにご協力いただき、活動を進められたことを本当にありがたく思っています。ダイビング業界はもちろんのこと、業界外からも賛同の声を多くいただき、大きな一歩を踏み出せたのではないかとと思っています。つきましては2020年の活動報告をまとめさせていただきましたので、ご査収ください。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらではありますが、これからもダイビング中にごみを見かけたら、ひとつでも拾うことが当たり前になることを目指し、活動を続けていきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# 後援 環境省

環境省より後援をいただきました。

環水大永発第 2003306 号  
令和 2 年 3 月 30 日

株式会社水中通形センター  
代表取締役 館石 哲見 殿

環境大臣  
小泉進次郎



「1 Dive 1 Cleanup プロジェクト」に対する  
環境省後援（協賛等）の名義使用の承認について（回答）

令和 2 年 3 月 2 日付け文書をもって申請のあった標記について、環境省後援の名義を使用することは、差し支えありません。

事業計画に変更等があった場合は、必要な書類を添付して直ちに届け出てください。行事の実施に当たっては、地球温暖化対策、廃棄物対策等に十分配慮してください。

また、名義の使用後は、その結果を速やかに報告願います。

# 賛同企業

## 15社

1 Dive 1 Cleanup プロジェクトの理念に共感していただいた15社に、賛同企業としてご協力いただきました。



順不同

[illegible]



# 協力ショップ

## ポスターとバナーの配布

協力ショップに登録したダイビングショップ／サービスには店内等掲示用にB3判ポスターを送付。  
また、ウェブサイト設置用にバナーも作成し、送付しました。

店内等掲示用ポスター →

ウェブサイト設置用バナー ↓



# プロジェクト ロゴ

お魚イラストレーターとして活躍する友永たろ氏に、プロジェクトのロゴを作成していただきました。



## 友永 たろ（ともながたろ）Profile

お魚大好きイラストレーター。絵本や児童書など、子どもの本の挿画やイラストを多数手がける。... 水族館やダイビング関係のポスターやイラストも制作。主な著書に『サンゴといっしょすいぞくかん』『サメだいすきすいぞくかん』（以上アリス館）、など多数。

# 応援コメント

当プロジェクトの理念に賛同していただいた2名の写真家に、応援のコメントをいただきました。



**高砂淳二**（自然写真家）

「1 Dive 1 Cleanup」、とてもいい発想だと思います。海はすぐそこにあっても、普通の人はその中に身を置くことはできず、たとえ気持ちがあってもそこに沈んでしまったごみを拾うことはできません。ダイバーは、狭い範囲で短い時間ではあっても、海の中を見ることができ、海の中にあるごみはとても醜く、あってはならない異物であることを知っています。そしてそれを拾って帰ることができる、数少ない人種です。1Diveでひとり一個でも拾うことが、海底を少しずつ綺麗にし、ほかのダイバーの気持ちをも変えてゆきます。1 Dive 1 Cleanup が、広まることを期待します！



**鍵井靖章**（水中写真家）

ダイビングの楽しみは、憧れの生き物に出会うことやリフレッシュすることだったりだと思います。1 ダイブ中にひとつのごみを拾う。やってみると中性浮力をうまく保って潜れた時や好きな生き物に出会えた時の喜びに似た充実感を得ることができます。私も含め、個々の意識を変え、少し海に恩返しを始めませんか？



262件／1,040名

2020年4月からスタートし、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言などの影響で活動の制限を受ける中、日本全国、また海外からも計262件／1,040名の活動報告が寄せられました。

## ↓活動報告一覽

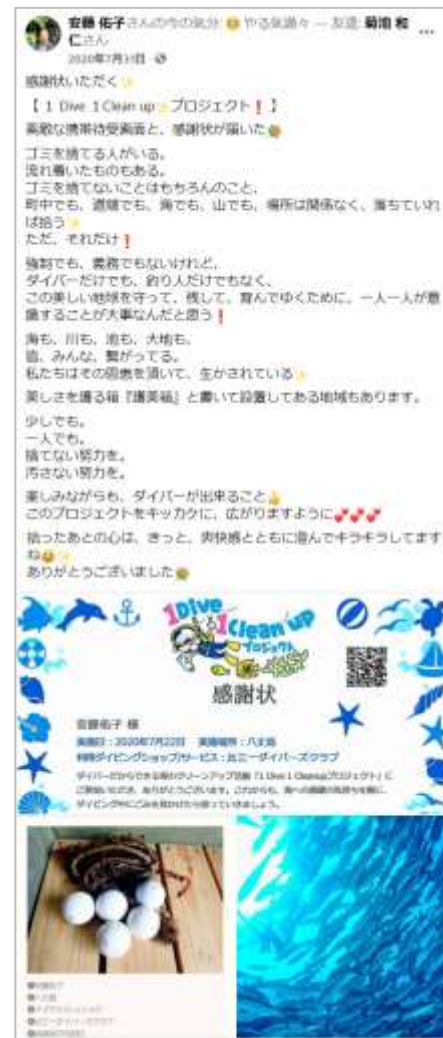


# 活動報告

## 活動報告へのお礼

活動報告を投稿していただいた方には、デジタル版感謝状と、オリジナルの壁紙画像（毎月変更）を送付。

感謝状は、参加者のSNSでシェアされるなど、プロジェクトの拡散にもつながりました。



# 活動報告

## 活動報告で寄せられた主なごみの種類

|             |           |             |
|-------------|-----------|-------------|
| 発泡トレイ       | お菓子の袋     | 帽子          |
| ビニールのテープ・ひも | 紙パック      | マクス・スノーケル   |
| ビニール袋       | ガラス片      | ライター        |
| 包装紙         | 靴・サンダル    | ルアー・エギ      |
| ビン          | ゴム手袋      | レトルトカレーの袋   |
| ブラシ         | ゴルフボール    | ロープ         |
| プラスチックカップ   | サングラス     | 煙草の吸い殻      |
| プラスチックスプーン  | シャワーヘッド   | 缶（スチール・アルミ） |
| プラスチックトレイ   | ジュースのキャップ | 気象観測用のバルーン  |
| プラスチックパイプ   | 釣りの重り     | 漁網          |
| プラスチック片     | 電池        | 金属棒         |
| プラスチック容器    | 陶器        | 軍手          |
| ヘアゴム        | ナイロン網     | 釣り糸（テグス）    |
| ペットボトル      | ぬいぐるみ     | 鍋           |
| ヘルメット       | バケツ       | 発泡スチロール片    |

などなど

# 参加者からの声

- ▶ ダイビングの途中で気になったので回収しました。ゴミのない綺麗な海を目指して1Dive1Cleanupを今後も続けていこうと思います。
- ▶ 少しずつでもゴミが減っていった綺麗な海を守っていけたらと思います。
- ▶ 一期一会ならぬ一潜一拾。みんなでやりましょう！
- ▶ もっと拾いたかったですが次回の楽しみの1つに取っておきます！
- ▶ ごみを拾って心も海もきれいになりました。
- ▶ 生き物よりもゴミ探しのダイビングしちゃいましたー。
- ▶ 一つ拾うはずが、ついつい気になってたくさん拾ってしまいました。
- ▶ いつも私たちを楽しませてくれる海を守るために、できることから少しずつ！

# イベント・セミナー

2020年8月21日～23日 東京・池袋サンシャインシティ文化会館

## 「マリンダイビングフェア2020」

### ●「マリンダイビング」ブースでのPR

プロジェクトの概要紹介のほか、ロゴパネルを持って写真撮影してくれた方への抽選会などを実施しました。



### ●ステージイベント

8月21日（金）に、自然写真家・高砂淳二氏をお招きして、ステージでのトークセッションを実施。海洋プラスチックごみ問題の現状などを話しました。





# イベント・セミナー

2020年7月18日 西伊豆・土肥

## 第24回クリーンアップin土肥

50名以上が参加し、西伊豆・土肥の水中をクリーンアップ。たくさんのごみを回収しました。



2020年10月24日 東伊豆・伊豆海洋公園

## NAUI秋のビーチクリーンアップイベント

ダイビング教育機関NAUIのビーチクリーンアップイベントとコラボし、東伊豆・伊豆海洋公園でビーチと水中のクリーンアップを実施。参加者には、ロゴ入りのオリジナル参加証を授与。



# イベント・セミナー

2020年11月12日～12月16日 東京・渋谷

## アップリンク渋谷 館内展示

映画『プラスチックの海』の公開に合わせ、アップリンク渋谷の待合スペースで海洋プラスチックごみの展示などを実施。プロジェクトの概要紹介や、来場者からのコメント募集も。



2020年12月16日

## エグゼクティブセンター オンラインセミナー

国内8カ所でオフィススペースなどを提供する《エグゼクティブセンター》の参加企業向けに、「海洋プラスチックごみ問題の今」をテーマにオンラインセミナーを実施しました。

## 月刊『マリンダイビング』一プロジェクト紹介

月刊『マリンダイビング』誌面にて、毎月カラーページで掲載。プロジェクトの概要のほか、活動の手順、協力ショップ一覧、活動報告、賛同店の環境貢献活動などを紹介しました。

「1Dive 1Cleanup プロジェクト」活動の手順

### STEP 1

#### ダイビングでゴミを見かけたら、ひとつでもよいので拾う

この活動は、ダイビング活動と併せて行う「1Dive 1Cleanup」活動です。ダイビング活動中にゴミを見つけたら、ひとつでもよいので拾い、ゴミ箱やゴミ袋に入れてください。

※ 活動の目的は、ゴミを拾うことではありません。

- ・ダイビング活動中にゴミを見つけたら、ひとつでもよいので拾い、ゴミ箱やゴミ袋に入れてください。
- ・ダイビング活動中にゴミを見つけたら、ひとつでもよいので拾い、ゴミ箱やゴミ袋に入れてください。
- ・ダイビング活動中にゴミを見つけたら、ひとつでもよいので拾い、ゴミ箱やゴミ袋に入れてください。



### STEP 2

#### 「マリンダイビングWEB」内の特設ページより、写真とデータを投稿する

ダイビング活動中にゴミを見つけたら、ひとつでもよいので拾い、ゴミ箱やゴミ袋に入れてください。そして、「マリンダイビングWEB」内の特設ページより、写真とデータを投稿してください。

※ 投稿する写真は、ダイビング活動中にゴミを見つけた瞬間の写真を1枚、拾ったゴミの写真を1枚、合計2枚の写真を投稿してください。



### STEP 3

#### この活動をSNSなどで広く拡散する

この活動をSNSなどで広く拡散し、多くの人に参加してもらいましょう。

※ SNSで拡散する際は、必ず「1Dive 1Cleanup プロジェクト」のハッシュタグ（#1Dive1Cleanup）を使用してください。



※ この活動は、ダイビング活動と併せて行う「1Dive 1Cleanup」活動です。ダイビング活動中にゴミを見つけたら、ひとつでもよいので拾い、ゴミ箱やゴミ袋に入れてください。

※ この活動は、ダイビング活動と併せて行う「1Dive 1Cleanup」活動です。ダイビング活動中にゴミを見つけたら、ひとつでもよいので拾い、ゴミ箱やゴミ袋に入れてください。

[illegible]



# 誌面展開

## 月刊『マリンダイビング』ープロジェクト紹介

- 2020年5月号／カラー4ページ
- 2020年6/7月合併号／カラー4ページ
- 2020年8月号／カラー4ページ
- 2020年9月号／カラー4ページ
- 2020年10月号／カラー5ページ
- 2020年11月号／カラー4ページ
- 2020年12月号／カラー6ページ
- 2020年1/2月合併号／カラー5ページ



# 誌面展開

## 月刊『マリンダイビング』—特集記事

海洋プラスチックごみのアップサイクルについてや、海洋ごみを回収するためのスキルを学ぶ講習の紹介など、海洋プラスチックごみに関する情報を特集記事としても取り上げました。





## 誌面展開

## 賛同企業の活動紹介

..... From「1Dive 1Cleanup プロジェクト」賛同企業 .....

Copyright © 2010 Pearson Education, Inc. All rights reserved. Printed in the United States of America. This book is protected by copyright. No part of this book may be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted, in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or by any information storage or retrieval system, without permission in writing from Pearson Education, Inc.

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|  |  |  |



© 2013 Pearson Education, Inc. or its affiliate(s). All rights reserved.

上圖の通り、 $\mathcal{H}$  は  $\mathcal{H}_1$  と  $\mathcal{H}_2$  の直和である。

|    |        |
|----|--------|
| 總分 | 571.3  |
| 國文 | 71.00% |
| 數學 | 60.00% |

|                                               |         |
|-----------------------------------------------|---------|
| 1. 2018年12月31日，甲公司“应付账款”科目所属各明细科目期末贷方余额如下表所示： |         |
| 应付账款明细科目                                      | 贷方余额    |
| 应付账款——A公司                                     | 100000  |
| 应付账款——B公司                                     | 200000  |
| 应付账款——C公司                                     | 300000  |
| 应付账款——D公司                                     | 400000  |
| 应付账款——E公司                                     | 500000  |
| 应付账款——F公司                                     | 600000  |
| 应付账款——G公司                                     | 700000  |
| 应付账款——H公司                                     | 800000  |
| 应付账款——I公司                                     | 900000  |
| 应付账款——J公司                                     | 1000000 |
| 合计                                            | 5000000 |

● 2019年12月10日(星期三) 14:00-15:00

From 1 Dive 1 Cleanup 2

© 2000 Blackwell Science Ltd *Journal of Internal Medicine* 247: 399–406

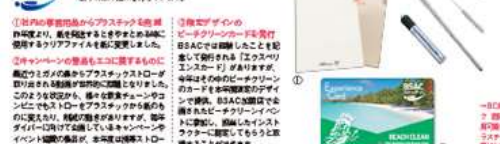
[illegible]

● 日本が「経済的危機」に陥ったのは、第二次大戦で敗戦したことが原因で、戦後、日本は戦前と同じような経済成長を遂げた。戦後、日本は戦前と同じような経済成長を遂げた。戦後、日本は戦前と同じような経済成長を遂げた。

[illegible]

「1Dive 1Cleanup プロジェクト」賛同企業の環境貢献活動

BSAC Dive with us 日本BSACでは環境保全に対して、以下の取り組みを行っています。



アクアラングでは世界的にプラスチックゴミの削減に努力しています。今後も紙製パッケージに適用する泡盛材をリ・ユース可能なものへの変更を積極的に実施していきます。

BCの店舗でも販売するプラスチックバックから、消費者に直接手に渡すことで使いやすさを向上させることにしました。また、グループ会社のApekaにおいては、既にほとんどの製品パッケージにおいてプラスチックの採用を止めました。

# ウェブサイト

ページ訪問者数：9,279人  
2020年4月1日～12月31日

年間110万人以上が訪れるウェブサイト「マリンダイビングWeb」内に特設コンテンツを設け、プロジェクトの概要、活動報告の手順、協力店一覧、活動報告一覧を掲載しました。

⇒ [トップページ](#)

⇒ [協力店一覧](#)

⇒ [活動報告一覧](#)



# SNS



<https://www.facebook.com/1dive1cleanup>

投稿の総リーチ数：31,415  
投稿の総エンゲージメント  
(いいね等)：3,478

フォロワー数：397

2020年4月1日～12月31日

Facebookページにて、プロジェクトの紹介やイベント等の情報発信のほか、投稿された活動報告も紹介。リーチ数、エンゲージメントともに徐々に伸びています。



# そのほか

## メールマガジンでの告知

配信数：約14,500通×4回

期間中に4回、メールマガジン  
「マリンダイビングWeb通信」  
にて、プロジェクトを紹介。

## プレスリリースでの告知

|       |      |
|-------|------|
| 掲載媒体数 | 17媒体 |
|-------|------|

- ・ 朝日新聞デジタル ・ Googleニュース
  - ・ ニコニコニュース ・ SANSPO.COM
  - ・ exciteニュース ・ BIGLOBEニュース
  - ・ 宮崎日日新聞 ・ 徳島新聞
- など

